

物 許 編

昭和49年 5 月22日

特許疗员官 殿

الحسا

4 発明の名称 ・カンパグパークドウタイセイゾウルウ 置換酢酸簡単体の製造法

1 発 田 書

アウが中シレコンクカッチ 兵庫県尼崎市武庫豊町2の5の53の303 パマゲーロシーノリ

3.特許出版人 郵便署号 54/

大阪府大阪市東区道修町3丁目/2番#

(193) 拉野截製架株式会社

サンド 女 オ 代表者 吉 和 一 佐

4代 理 人 郵便番号 353

大阪市福島区鷺州上2丁目47番地

连野義製業株式会社特許部(電話 06~458~5861)

弁理士(6703) 岩 崎 光



よ都付替頭の 目録

/通 / 強 约 計 // 49. 5. 24 出版第二章 品版第二章

(5) **夏 李 副 本**49-058241

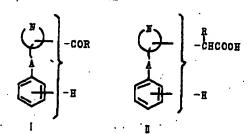
明 和 書

4発期の名称

置換酢酸誘導体の製造法

2.特許請求の範囲

一般式 『で表わされる化合物にアルコキシノチ レン三炭化水素基置換フォスフオランを反応させ て得られる化合物を加水分解しついで酸化して一 般式 』で表わされる化合物を得ることを特徴とす る置換酢酸勝導体の製造法。



(式中、)はピリジン、ピリミジン、イミダゾール、テトラゾールまたはチアゾールを 没わし、Rは 脱化水素基を表わし、 Aは 酸素、 確實、イミノ基または 脱化水素量換イミノ基を表わし、)

19 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 .50-149668

國公開日 昭 50. (1975) 11. 29

②特願昭 49-58244

②出願日 昭49. (1974) 5.22

審査請求 未請求

(全8頁)

庁内整理番号 \$647 44 6762 44 7306 44 \$647 44

10日本分類

|6 E35| |6 E43| 30 B4 30 CO (1) Int. C1².

CO7DZ77/34

CO7DZ17/36 CO7DZ17/38 CO7DZ17/42 CO7DZ/3/62 CO7DZ/3/74/ A6IK 3//425

び上記ペンゼン環は反応に影響を及ばさない!~ 3個の置鉄基を有していてもよくあるいは結合ペンゼン環または縮合脂環を有していてもよく-COR 基はこの結合ペンゼン環上にあつてもよい。但し のポチャゾールでない場合は、人は酸素さたは硫質を表わす。)

3発明の詳細な説明

本発明は置換酢酸誘導体の製造法に関し、その 目的は優れた抗炎症作用(抗りウマチ作用も含む) および鎮痛作用を示し医薬または動物薬として有 用な電換酢酸誘導体を得る点にある。

本発明方法の要旨は次式によって示される。

$$\begin{array}{c} -H \\ -GOR \\ -H \end{array} \begin{array}{c} -H \\ -GOROR \\ -GORO$$

(式中、 はピリラン、ピリミラン、イミダブール、テトラゾールまたはチアゾールを表わし、日は炭化水素基を表わし、人は酸素、硫黄、イミノ基または炭化水素変換イミノ基を表わし、 とおったは炭化水素変換イミノ基を表わし、 などを変けるないとなるのであるのは結合となってあるのは結合となってあるのは結合となってあるの結合ペンゼン環上にあってもよい。 このではこの結合ペンゼン環上にあってもよい。 ない場合は、人は酸素または硫度を表わす。)

本発明方法は一般式『で表わされる化合物をアルコキシメチレン三炭化水素量換フオスフォランと反応させるいわゆるウィティッヒ(Wittig)反応に付し(反応の)、得られる化合物質を加水分

- 3 -

反応③は化合物Nのアルデヒド基をカルボキシル基に変えるもので一般のアルデヒド基をカルボキシル基に変換する酸化反応に準じて行えばよい。例えば過マンガン酸カリウム。過酸化水素、酸化銀などにより水中または有機溶集中で酸化してもよいし、硝酸、クロム酸、希硫酸と過酸化鉛、または過酸化酢酸などにより酸化してもよい。なお上配反応①、 および⑤の工程において反応を受

特別 昭50-149 668 (2) 部に付し化合物 N とした(反応②)後酸化反応に 付して目的とする無換酢酸誘導体Ⅱを得る(反応 ③)ものである。

次に本発明方法の実態について詳細に記する。 反応(Dは通常のウィティッヒ反応に従つて行えば よく、種々のアルコキシメチレン三炭化水素伝換 フオスフオラン (例えば。 メトキシメチレントリ フエニルフオスフオラン。メトキシメテレントリ レントリプテルフオスフオランなど)が原料化合 物と反応条件に応じて適宜選択し使用される。例 えば、上配フオスフオランにハロゲン化水業が付 加したフオスフォニウム塩を使用し、有機金属(例えば、フエニルリテウム、ブテルリテクムなど) を用いてユーテル類「例えば、ユーテル、ジビニ ルエーテル、テトラヒドロフランなどし中で必要 に応じて加麗下で化合物!と反応させるか、ある いはアルカリ金属アルコキサイド(例えば、ナト りクムメチラート。ナトリウムエチラートなど) を用いアルコキサイドと対応するアルコール中で

ける環上の置換器は各反応の前後に置換器を修飾 することにより、最終において目的化合物を得る ようにすることができる。

かくして得られた化合物目はさらに分離。精製あるいは製剤化、その他の必要に応じて。適当なアルカリ金属塩(例えば、ナトリウム、カリウムなど)、アルカリ土類金属塩(例えば、カルシウム、マグネシウム、パリウムなど)。その他アルミニウム塩などに常法に従つて変換することができる。

本発明方法の目的化合物である言葉酢酸誘導体及びその塩類は優れた抗災症作用(抗りウマチ作用も含む)または無病作用を示し、密集または動物薬として有用な化合物である。

以下実施例において本発明方法の実施製機を示す。

実施例と

粉末にしたメトギシメテレントリフェニルフォスフオリウムグロライドはミスチリをエーテルスチロのに影響し、内温ノミ~20°Cでメノスs

第 昭50- 149 668 (3)

モルフエニルリチウムエーチ 心密 被60gを摘下 後!S℃で!S分園かきまぜる。 ユーフェノキシ ーゟーアセチルピリジン214gのエーテル薔薇 / 40 4を30分で調下後室温で / 4時間からま ぜる。不常物を沪去し沪波に氷水を注ぎェーテル で抽出する。抽出液を水洗、乾燥後溶媒を留去し 残骸!2628をシリカゲルカラムクロマトに付 す。ペンゼンノ酢酸エチルしs0:1)溶出部を 試圧蒸留すると boo (stable / 4.7~/ 4.9℃ の ユーフェ ノキシー5ー(ノーメチルーユーメトキシピニル) ピリジンミダスタを得る。

元素分析 C, H, O, N として 計算值: C.7%46; H.6.27; H.189 実験似: C,7494; E,637; E,19 · IR v max a / /658 . /590 NME 8(CDCs,) /88./95(3H.d)./367. 270(3H.8), 4/2, 433(3H,q)

`本品 L 4 6 8 を 2 8 塩酸 5 0 ㎡に 切え、 窒素気 流中一夜かきまぜた後反応液にペンゼン!0gを 入れ窒素気流中温マンガン酸カリウム(38の水

Ca(nH₂O): カルシウム塩(n水和物を扱わす) A4:アルミニウム塩 d:分解点

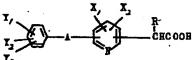
(以下余白)

Ř液30gを20分で摘下さらに室道で10分間 かきまぜた機不裕物を沪去し沪版を炭酸 水素ナト リウムで斑3~4としてエーテルで抽出する。抽 出液を56炭酸水素ナトリウム水溶液で抽出し / 0 多塩酸で耳をとした後ェーテルで再び抽出す る。抽出液を水洗。乾燥し溶媒を留去する。残液 6 / 0 考をベンゼン/石柚エーテルで再結晶する とやよよ~70℃の2~〔2~フェノキシーsー ピリジルトプロピオン酸 2110号を得る。本品は 他の方法により銅製された標品と同定された。

実起例 2

以下実施例!と同様にして下記の化合物を得る。 なお、下記麦中で用いられる略号は下記の意味を 表わし、 A 棚において例えばユー O はピリジン理 のは位がエーテル結合していることを表わし、ス、 YgYgおよびYamにおいて例えば 4-C4 はクロ ルが母核の4位を置換していることを表わす。

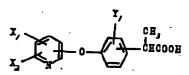
Me:メチル帯 Met:メトキン基 Bt:エチル帯 iso-Bu:イソブチル書 Ac:アセチル語 An:アニリノ基 CH,-〇:シクロプロピルメチル基



		Ţ,								
3	enen Æ	R -CHCOOK の位置	R - 1	\ - 3	K,	x,	Υ,	۲,	Y,	жь ("С)
	2	3	Ne 5-	- O E	I	H	H	H	Ħ	135~1355 .
1	3	q	Ne 2-	- 0 I	ĸ	Ħ	#-C#	H	H	//9~/20d
	æ	#	No 2-	- O I	E .	H	H	H	Ħ	98~99d
	\$	Ø.	Ne 2-	- 0 I	Ħ	H	2-C\$	H	H	107.5~1025d
١.	6	. 4	¥e 2-	- C I	Ħ	H	3-C#	H	E	84~83d
	7	3	¥e _2 -	- 0 1	Ħ	H	4 −C#	H .	Ħ	110~111
	8] 3	¥ө ⊒-	-0 1	B	H	. #	Ħ	H	94~95
1	9	3	No 6-	-0 1	H .	H	4-CI	E	H	114~115
	10	2	¥e é-	-0	H	Ħ	B	H	H	Ca(2H ₂ O)/35~/36
1	. //	2	Ke 'é-	- O 1	Ħ	H	#-C#	Ħ	H	Ca(2H_0)80~8/d
1	12	#	Ke 2-	- S 3	Ħ	H	- G-CE	H	Ħ	A464~65
	13	¢.	Ne 2	 0 1	Ħ	Ħ	#-Met .	H	Ħ	129~130d
	/ 4	4	No 2-	- o	H	H	9-10 0	Ħ	H	/0/~/02d
1	15	3	No 6	- s	H	H	H	Ħ	H	1145~1115
1	16	3	Жө б	. 0	Ħ	Ħ	⊈ ¥ 6	Ħ	H.	98~99
	17	#	Me 2	– 8	H	H	Ħ	H	H	Ca(34H20)/40~/4/
1	18	3	No 6	– 0	H	H	4-l et	H	H	Ca(/H 0) /35
۱	19	#	Et 2	o	H	H	#-C#	H	Ħ	9 2~9 3
1	20	3	Me &	– 0 _.	Ħ	H	3-C#	H	H	106~107
	2/	#	Ne 2	- 0	Ħ	H	4-CN	H	H	105~106d
	22	3	Et &	0	H	H	#-C8	H	Ħ	A4236
1	23	#	No 2	0	Ħ	H	9-COOE	· H	H	/5#~/56d
I	24	#	No 2	- 0	H.	H	3-CP ₂	H	H	Ca(2H ₂ O)/55~/57
1	25	3	No 6	– s	Ħ	H	4-C8	H	H	Ca(H ₂ O)/50
	26	#	Ne 2	-0 .	H	H	#-CONE ₂	H	H	160~162 200~201 (発泡)
١	27	#	٠.	— D	H	H	4-0H	H	H	Ca(#H ₂ 0)/87~/89
	28	#	Ne 2	-0	H	H	4-0Ac	H	H	Ca(28,0) /325~/335
-	29	3	Ne e	- 0	H	H	4-OAc	Ħ	H	Ca(#H ₂ O)/#5
-	30	3	¥e 6	-0	Ħ	H	4-0H	. H	H	Ca(H ₂ 0)205
	3/	#	'Ye 2	- 0	H	H	#~WO2	H	H	115~116d
	32	4	Me 2	- 0	H	H	4-NH3	Ħ	H	/32~/33d
	33	#	Ne J	-0	Ħ	H	#-HHAC	H	H	/42~/43d
	34	#	¥9 _2	l — 0	ĸ	H	#-NHCOOEt	H	· H	/36~/37d

実施	月 - CBCCC の位1	OHR-	- 🛦 ~	x,		ξ ₁ Ι,	Y,	, Y,	争(°C)。	•
35	#	Ne a	-0	H	H	#-MHCOA	n H	H	206~2084	
36	3	. No 6	-0	H	H		H	_	119~120	
37	#	No J	-0	Ħ	H	3 4.	~ベンソ		/38~/374	
38	3	No 6	-0	H	H		H	H	120~121	
39	3	¥o 6	-0	#-14s	E	H	H	H	135~136	
40	3	No 9	– o	J-160	Ħ	H	H	E	92~93	
41	,	No 4	- 0	Ħ	H	2-16e	3-Me		115~116	
42	3	No 6	- 0	Ħ	Ħ	2-C4	H	B	96~97	
#3	3	Ma 6	- 0	Ħ	H	. i lío	Ħ	H	65~67	
44	3	A ox	– 0	H	H	3-16c	H	Ħ	8/~82	
**	3		- 0	Ħ	H	3-14e	s-Me	H	120~121	ļ
46	3	Me &		H	Ħ	3-14e	4-Ke	H	90~91	ı
¥7	3	Me #-		H	H	H	H	Ħ	145~146	- 1
# 8 # 9	3		- 0	H	B	· #-100-20	E	H.	77~78	1
50	"	No 2		Ħ	Ħ	. 2 No	J-Me	H	\$6~87d	-
51	3		-0	<i>5</i> −Me	H	H	· #	H	107~108	-
5.2] ;	No 6-		H	H	J-Ke	5-Ne	Ħ	Ca(2H20)/95d	ı
53	3	¥0 4-	~ O ·	H	H	.2-16o	4-Ne		Ca(2H ₂ O)/87d	ł
54	4	Xe 2-		H	H	- 2 1/0	4-No	H	Ca(/SH20) 2024	1
· 5	#	No 2-		H	H	3-16e	4-Ne	H	/23~/2#d	1
56	3	Ke 6-		H	H	3-16e 2-16	5-Me	H	103~10#d	1
57	3	No 4-		H	H				128~129	1
58	3	Me &-		H	H				//3~//#	1
37	3	Mo 6-		H	B				135~156	1
60	3	No 4-		Ħ	H	44-(CE ₂)			/35~/36	
61	g	Me 2-	0	H	Ħ				Ca(/5H ₂ O)/67d /23~/26d	1
42	4	Me 2-	٥	H	Ħ				/23~/28d /24~/27d	ı
43	3	No 4-	0	.Ħ	H	23-(CH ₂)			CS(TOE ² D)\&2~1889	1
44	3	Mo &~	0	H .	H	3#-~			1205~1265	
65	3	Me 6-	Ο.	H	H	23-4			/3/~/32	
66	3	No 4-		r–Mae s			H		144~143	l
67	· 4	Ke 2-	0	76-×	75	Ħ	Ħ		Cal 15H ₂ 01216~217	
64	3	Ro · 9 -	0	45-a	シノ	H	H		122~123	
69	3	¥0 4-	0	45-1	CE,);	- B			15/~152	
70	3	Me 6-	0			74-(CH ³)		. – . ע	1225~/225	

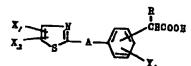
美海例	日 - CHCOOH の位置	R	- A -	I,	I,	Y,	Y,	Υ,	₩(°C)
71	3	M e	6-0	H	H	3-Met	H	H	625~705
72			8-0				H	H	Cs(\ZH_O)2/8d
73	3	Me	4-0	H	H	#-OH		H	167~169
74	3	Me	4-0	H		#-AcO		H	161~162



英範衍	x,	X,	ブエノキシ基 の位置	Y,	及 一CHCCCH の位置	\$P(*C)
75	H	Ħ	2	H	3	76~77
76	Ħ	H	2	Ħ	4	129~130
77	.5-CH	H	2	H	¢	198~200
78	· 2-COME	H	2	H	· #	2//~2/2
7 7	Ħ	. H	3	H	4	130~131
80	H	H	. 4	H	¥	180~181
8/	34-1	CH_1#-	, 2	H	4	166~167
7.2	34-4	ンゾ	2	H	. 4	145~147
3	3-No	a-No	2 .	H	¥	1323~156
4	≠ −Ke	5-¥e	2	Ħ	#	/42~/43
. 2	. 4-No	H	2	H	4	123~124
6	6-Ne	Ħ	.	Ė	æ	Ca/H ₂ O)273~275
.2	3-Br	Ħ	2	H	. 4	137~138
rø	2-Ne	Ħ	#	R .	4	152~153
79	5-Ne	H	2	H	#	132~/33
0	3-Me	H	2	H	#	
/	H	H	. 2	2-¥e	*	/2/~/22
2	H	H .	2	2-Met	. +	107~108
3	ж/	H	2	_	-	Ca(#H ₂ 0) /58d
		_	-4	H	#	136~138

₩/ s-chon³cooh

· 実施例 ~	T,	Y,	A	z , .	CH, -CHCOOK の位置	₩(°C)
9#	H	R	0	4-Ne	•	110~111
75	2-Ye	3-X0	0	#-No	5	/42~/43
74	3-CF,	H	0	4-No	5	Ca(25H,0)/06d
97	4-¥e	Ħ .	0	4-H0	5	//8.Ca(25H_0) /#6d
98	#-C1	H	0	4-Me	5	73~74. Ca(2.5H ₂ O)/33
99	E.	Ħ	8	4-Ro	3	/28~/30
100	H	H	. 0	H	5	Ca(/SE_0)/69~170d
101	4-01	H	0	Ħ.	5	Ca(H ₃ O)/#5d
102	E	H	NH	4-Xe	5	/#5d
103	3-07,	H	NH	#-No	5	193d
104	E	H	0	H	#	Ca(25H ₂ O)/#2d
105	H	H	0	3-Ne	4	Ca(23H,0)/#2d
106	4-C8	Ħ	0	H	#	CB(23H_0)/33~/35d
107	4-01	H	. 0	S-No	¥	Ca(25H_0)/3#~/36
108	H	H	N-No	H	#	79~80d
109	H	Ħ	N-Ne	#-No	5	141~142
110	н	Ħ	第一アリル	a-Re	5	106~107
"	E	H	н −сн_≺	#-Mo	5	/20~/2/
112	н	B	H-No		5	198~200
//3	H	H	第一アリル	Ħ	5	/34~/35
//#.	H	H	M-CH'-	H	. #	Ca(3H ₂ O)/80~/83
115	H	H.	第一ペンシル		#	Ca(H,0)/20~/254
116	H	Ħ	ヨーアリル	H	q	Ca(2H,0)/73~/78d



実施例 点	x,	x,	A	ī,	日 - CHCCOH の位置	R	#P(°C)
117	H	H	0	R	4	Ио	119~120
118	&-Ne	s-Ne	0	H	#	.Me	122~/2#
119	⊬− ¥e	H	0 '	B	#	Жe	87~88
120	B	H	0	2-Net	#	Me	Ca(H ₂ O)/75d
/2/	H	H	0	H	· #	アリル・	Ca(H,0)/3#d
22	E	Ħ	0	·Ħ	3	Me	88~89
23	H ,	H	M-Ke	H	#	Me	123~124
2#	H	H	背ーアリル	H.	4	Me	118~119
25	H	Ħ	0	H	4	Et	115~116
26	H	Ħ	0	H	¢	عوث	121~122
27	H	H	0	H	#	※2	99~100
28	H	H	0	H	#	Ж.3	111~112
27	. H	H	0	H	#	-CR,∢	85~86
30	H	H	0	2-Me	4	Мо	93~94

#2 -CH₂CECH #3 -CH₂CCH₃=CH₃

- / 4 -

美和例!31~!34

. 実躯例!と即様にして下記の化合物を得る。

ユー〔6ー(ユーピリジルオキン)―ユーナフ チル〕プロピオン酸、甲197~198℃。

ユー〔4ー(ノーフエニルーノユミダーテトラ ソリルオキシ)フエニル)プロピオン酸、甲/65 ~/66℃。

ユー〔 αー(ユーピリミジルオキシ)フェニル〕 プロピオン酸、Ψ/クα~/タS°C。

. ユー〔ダー(ノーメチルーユーペンズィミダゾ イルオキシ)フエニル〕プロピオン酸。即18k ~185℃。

特許出版人 拉野酰製業株式会社

代 冠 人 弁理士 岩筋 光點



ム前記以外の発用者

サカインサンジョウドオリ 大阪府堺市三条通2のs 4カ ダ デッ オ 岡 田 哲 夫

6

特許法第17条の2による補正の掲載 昭和49年特許顧第58244 号(特開昭 50-149668 号 昭和50年//月29日 発行公開特許公報50-1497 号掲載) については特許法第17条の2による補正があったので 下記の通り掲載する。

庁内整理書号	日本分類
6762 44 7306 44 5647 44	16 E351 16 E431 30 B4
5647 44	30 00

手 続 補 正 (意見書に代えて)

昭和 53年 美月 19日

特許庁長官 駅 ル事件の表示 田和49年特許額第 58244 号 2発用の名称

置換酢酸誘導体の製造法

3補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 大阪府大阪市東区道修町3丁目/2番地

名称 (192) 塩野義製業株式会社

代函者 吉利 一 雄

%代 選 人

在所 大阪市福島区第州5丁目12番4号 塩野 義 製 薬 株 式 会 社 特 許 部

(電影のムーサタミータミム/)

氏名 弁理士(6703) 岩 崎 光

لتع

لأخبق

よ補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の概

る補正の内容

(1)明細書8頁//行目の「実施例2」を「実施例2-/30」に訂正する。

(2) 関書 / 2 頁実監例 8 7 の X 欄の「3 - B r 」を「5 - B r 」に訂正する。

(3)同書/よ頁の実施例/3/~/34の次に下 記の実施例/35~/69を追加する。

「実施例/35~/69

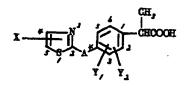
実施例!と同様に反応操作し、下記の化合物を 得る。

(日余子以)

実施例	Y,:	Υ,2	\$ (*C)
135	2-Me	H	150~151
136	3-C 4	H	98~99
137	2-C4	H	145~146
138	3-C &	5-C1	127~128

実施例	. ү	Ж	ም (*C)
139	i-Pr	3	89~91
140	Pr	3	815~825
141	t-Bu	3	112~113
1 4 2	a—Bu	3	67~71
143	Bu	3	Ca.H ₂ O/40~/42
144	i—Ba	3	Ca //4~//9(d)





1			,		·	
	夹起例	X	A	Y,	Y,	\$ (℃)
ı	145	H	0	2-Mo	H	120~121
ł	146	Ħ	0	3-C#	· H	115~116
ı	147	H	0	2-C#	H	86~87
I	148	H	N-Ma	3-C1	H	Ca : 4H,0
	149	H	8	Ħ	н	85~87
I	150	Ħ	0	2-01	<i>3</i> -¥₀	147~148
I	151	H	0	3-F	H	107~108
İ	152	H	0	.2-Me	5-C#	130~131
l	153	H	NH	3-C#	н	144~145
l	154	4-Mc	ЮH	2-01	H	185~188
I	155	Ψ-Mo	ЮН	3F	H	163~164
ĺ	136	% —Me	nee	.2-F	Ħ	202~204.
I	157	H	NH	2-1	Ħ.	190~1915
L	158	H	NH	3-04	5-C4	177~178

159	₩ Me	N-Ma	3-C4	3-01	138~139
160	4-Mo	NH	3-Ma	H	20/~202
161	H	N-Me	3-C4	5-C4	180~181
162	H	N-Me	2-F	H	111~1125
163	н	0	2-F	Ħ	74~75
164	H	NH	3-¥	Ħ	160~161
165	н	N-Me	2-Me	H	165~166
166	H.	N-Me	3-P	H	98~100
167	H	NE	2-Ca	Ħ	174~175
168	H	NH	2-Mo	н	160~1615
169	H	N-Me	2-C4	Ħ	141~142

各表中の略号は以下の散転を表わす

i-Ps:イソプロピル基 Ps:プロピル基 t-Bu:tーブナル基 s-Bu:seo-ブナル基 i-Bu:イソブナル基。その他の略号は前記の意味を表わす。

e l